

# 下田小だより

平成29年10月 2日 号  
文責 久留米市立下田小学校  
校長 平塚 宏子



## 「絆」を深めた感動的な運動会でした。

さわやかな秋晴れの9月23日(土)、平成29年度の運動会を開催することができました。みんなで決めたスローガン「絆を深め、最後まで全力挑戦!!」のもと、43名の全校児童が力を合わせ、最後まで諦めず、全力を出しきり、地域・保護者・仲間などいろいろな人と絆を深めた運動会になりました。

競技での頑張りも光りましたが、一生懸命応援する姿も心に残りました。特に、上学年の競技中に下学年がテントの前で旗を振りながら、大きな声で応援している姿からは、上学年と下学年の「絆」を感じましたし、赤組と白組がお互いを讃え合う姿からは、勝負をする相手でありながらお互いを大切に認め合う「絆」が生まれました。



【華那さん、瑚子さんの紅白交礼】 【力を合わせてヨーイショ!】 【やったあ!運もよかったよ。】

特に感動したのは、「表現」です。下学年の「やってみよう～下田元気キッズ～」は、曲に乗って踊ることを心から楽しんでいる子ども達のはじける笑顔が印象的でしたし、上学年の「心つないで～下田 YOSAKOI～」では、鳴子のリズム・軽やかなステップ・仲間との信頼関係を軸とした躍動的な動きに感動しました。アンコールでは、上級生のみならず、先生方、卒業生、保護者、下級生など、たくさんの人が参加して素晴らしい「下田のよさ」に涙がこみ上げてきました。

休む暇なく競技に出場したり、係の仕事を次々となしたりと、子ども達は、主体的に動くことができていました。子どもたちの感想からもやり遂げた喜びや充実感がよくわかりました。



【渾身の力を込めて!!】 【敬老会の方々と仲よく、それっ。】 【みんな輪になり、城島音頭】

ご来賓や敬老会の皆様、あしづかしもだ保育園、地域・保護者の皆様のご協力やご声援など、心から感謝申し上げます。いろいろな方が参加・協力して下田小学校の運動会を盛り上げてくださいました。おかげさまで、皆様との絆を深め、思い出に残る感動的な運動会となりました。伝統的な「城島音頭」も、今年も指導に来ていただき、教職員も一緒に学びました。

皆様、本当にありがとうございました。

下田の子どものいい所は、誰一人、最後まで手を抜かず、自分の力を精一杯発揮する所です。そしてそれは、精一杯の頑張りを、心から応援して下さる温かい人々がたくさんおられるので、安心して力を発揮できるのだと思います。

今回の運動会の練習と本番を通して、子ども達は、勝敗のみにこだわらず、仲間と力を合わせて自分の力を精一杯発揮することと、「勝っておごらず、負けてくさらず、みんなで力を合わせるこそが宝」という精神も学びました。



【赤組の団結力の素晴らしさ】



【白組の演舞の美しさ】



【大きなダルマに悪戦苦闘、でもみんな笑顔】



【信頼でつなぐバトン！】



【先生も卒業生も下級生も一緒に】



【最後まで頑張った1年生】



【4・5・6年生の心が一つになった「下田 YOSAKOI (ヨサコイ)」！！】

## 10月は「いじめ問題対応月間」です！

久留米市では、いじめ問題に対する早期発見・早期対応を行うことにより、子ども達が安心して学校生活を送ることができるように、10月を「いじめ問題対応強化月間」と位置づけています。毎月学校生活アンケートをとっていますが、今月は「いじめに特化した無記名アンケート」を実施します。また、保護者の皆様に「家庭用チェックリスト」のご協力をお願いいたします。その結果を踏まえて、個別に教育相談を行います。日頃の様子では見つけにくい友人関係や「困っていること」などを把握し、解決を図っていきたくと考えています。

全職員が「いじめはどの学校にも起こりうる」という認識を持って、いじめをうまない学校作りに努めていきます。

ご協力を宜しくお願いいたします。

